

香川 全研ニュース 第二号

認知症と診断された時、絶望的になり空白の時間がある。

認知症の診断を受けた後、早期に希望の獲得が必要である。

早期希望を獲得された方は、物忘れはあるが自分で出来るところを見つけ、生きがいを持って生活出来ている。

前向きに生活が送れることで、認知機能の維持・認知症の進行を遅らせる事が出来る。

認知症になれば、家族・医療・施設・地域全ての人達の支えがなければ生きていけない。関係者のバランスが大切。医療関係者のみに頼るのでは、認知症の人の命は守れない。家族だけで支えるのも一番良い選択とも言えない。

多くの医療関係者の言葉の中でも特に印象に残った言葉である。認知症の方の生活を支えるべく力の在り方なのは

認知症の方の生活を支える方法は

認知症の方が求めるべき場所は

家族は何に気づき、何を求めるべきか

医療は・施設はどう支えるべきか

地域社会は何を知り・何をすべきか

一人ひとりの想いを伝え合い 自分存在を確かめ会おう。

今より元気になった自分を見つけよう。



ひっくりかえれば起き上がればいい
きっと立ち上がる事が出来る。

760-0080

香川県高松市木太町 3127-1 なかよしマンション木太 202号
認知症の人と家族の会 香川県支部

香川 全研ニュース 第二号

認知症の人と家族の会 会員の想いは深く、その想いを周りの人に伝えたい気持ちが見える形にしたのが本なのでは。

今まで多くの人達が、自費出版している事が証なのでは。

第39回全国研究集会において、認知症の人と家族の会関係者の方が出版した書籍を販売もしくは、差し上げる機会を設けました。

ご希望の方は、当日又は、前もってお送りくださいませ。

御不明な点がありましたら、香川県支部まで御連絡くださいませ。

【瀬戸内国際芸術祭】

瀬戸内海に浮かぶ島 直島

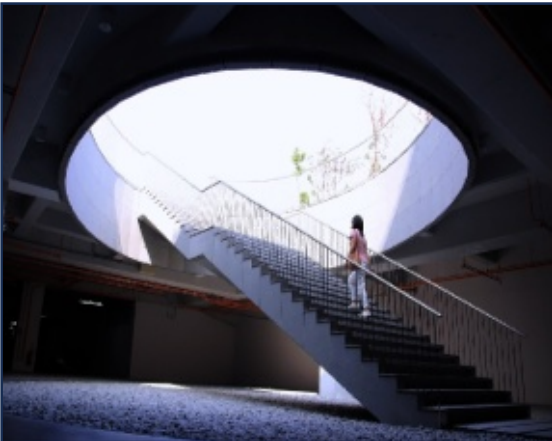
大学生がカフェを開いたり

香川県伝統工芸品が並んでいるお店もあります。

その中でも、地中美術館。

地中美術館はどんな所だと想い、自分なりにイメージする。

楽しい物です。



でも、自分の目で確かめ、膚で感じる事も大切なのでは。

全国研究集会の機会を活かして実物とイメージの違いをお楽しみ下さい。

人だけが、様々な事に対してイメージする。

イメージした事と実物は異なる事が多いが、イメージする事を人間はやめはしない。

結局、イメージする事を楽しんでいるのかも知れない。



760-0080

香川県高松市木太町 3127-1

なかよしマンション木太202号

認知症の人と家族の会 香川県支部